



自分のペースで繰り返す

この塾から最後に送り出す高3生の指定校推薦や総合型選抜での大学合格の知らせが次々と入ってきています。自分で決めた進路ですから入学後もしっかりと目標に向けて励むことを期待しています。

さて私は数十年ぶりにテニスを再開しました。近所のテニス同好会に入り同世代のお姉さま方と楽しくゲームをしています。しかしコーチがいる訳でもないので一向に上達しません。ラケットなどの道具は進化しているのに体力と動体視力は衰え、何とかしたいとYouTubeに頼ることにしました。今は様々な解説動画があり、サーブの打ち方やボレーのしかたなどていねいに教えてくれます。ところが「よし、コツがわかったぞ」と思い、いざコートに立ってみると全然できません。“わかったと思ってもできる訳ではない”と普段からみなさんに言っていることを自分でもしみじみ感じます。それでも2か月、3か月と経つうちに少しずつ慣れて成果が出てきた気もします。あきらめずに楽しんでいこうと思っています。

この時期になると中3の受験生の中には、自分としてはずいぶん頑張っているのになかなか志望校の合格偏差値に近づかないと悩む人もいるでしょう。それは周りも頑張り始めたからまだ成果が実感できないのです。でもここで問題演習を繰り返すことをあきらめないでほしいと思います。「わかりかけたから似た問題をもっとください」という声も増えてきました。自分のペースでかまわないので、“できそうな問題”を繰り返し演習し、“確実にできる問題”として少しずつ積み上げていくことによって得点は必ず伸びます。

「手を抜くんじゃなくて力を抜く」という“ばあちゃんが残してくれた言葉のお守り”というのをネットで見かけましたが、まさにその通り。模試の結果を見た時だけ落ち込んだり、妙に張り切ったりするのではなく、肩の力を抜きつつやるべきことは必ずやり続けることが大事です。冬期講習では中学3年間の総復習がメインです。中1・中2で習ったことがまるで「初めて目にしました」とならぬよう、最後の備えを万全にしていきましょう！